

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業
領域開拓プログラム（研究テーマ公募型研究テーマ）
評価用研究成果報告書

課題		情報メディア発展のもとでの新しい地域研究			
研究テーマ名		新たな華語情報環境のもとでの中国研究が示唆する次世代型地域研究			
研究代表者	所属機関	明治大学			
	部局	法学部			
	役職	教授	氏名	鈴木賢	
委託研究費		単位：千円			
平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
3,675	3,440	2,634	2,001		

1. 研究の概要

研究目的、研究内容、成果や波及効果等、実施した研究の概要について、簡潔に記述してください。

華語コンテンツをめぐる情報環境は大きく変化しているにもかかわらず、既存の中国研究、あるいは今後求められる中華圏を統合した大中華研究は、新たな潮流を十分視野に入れたものとはなっていない。日本の中国研究も従来のような中国とのパイの関係だけに依存した伝統的な文献研究や人脈を通じた観察・分析が主流である。華語メディアのグローバルな越境の時代に即した新たな中国・中華研究の枠組みが求められていることを踏まえ、本研究では新たな華語情報環境に即応した中国・中華圏・華人研究のための情報集約方法、および「グローバル華語情報プラットフォーム」の確立を目指した。内外の華語情報の収集・分析を行うとともに、欧米各国の越境華語メディア（活字、放送、インターネット）の現場で聞き取り調査を行い、以下3点を明らかにした。①国家主導による情報環境に対する統制とその変容のありよう。②メディアの産業化およびネット世論の形成の現状。③国境を越えてグローバルに広がる華語メディアの展開。

海外の華語サイトは、共通して中国国内でのブロックをくぐり抜けながら、アクセス数を延ばすという矛盾した要請の両立を迫られていて、経営的にはいずれも苦しい状況にある。一部の外国政府の予算により運営されるメディアを除いて、不安定な経営を強いられているのも事実である。また、海外華語メディアで働く中国人幹部やスタッフの中国国内に残る近親者への嫌がらせ、つきまとい、行動妨害などが頻発しており、そうした卑劣な方法によってメディアのコンテンツへの間接的影響力の行使が行われている。中国の体制はあの手この手を使い、海外の華語メディアに対するコントロールを試みている。それは、海外華語メディアが中国内外の華人社会に一定の影響を与えているという証左でもある。

華語メディアの主流は今日ネットメディアになっていることを踏まえ、世界中の中国語によるサイトにはどのようなものがあり、それぞれの主体やコンテンツにいかなる特徴があるかについて調査した。これを整理して、華語情報のインデックスを集約したサイト「グローバル華語情報プラットフォーム」（華語メディアウェブサイト一覧）を初歩的に構築した。実際に海外華語メディアが提供する情報を駆使して、新たな視角から法学や政治学、メディア研究の実作を公表することは、今後、中国研究全体に課された課題として残されている。